講習の名称:からだ・気づき・対話の鑑賞教育

担当講師:郡司 明子(教育学部准教授)講習開講日:平成28年8月20日(土)

時間数:6時間

主な受講対象者:幼稚園教諭,小学校教諭,美術科を担当する中学校・高等学校教諭

キーワード:身体性・対話型鑑賞・パフォーミング鑑賞劇・

講習の概要:

からだ・気づき・対話を重視した鑑賞(表現)教育について実践的に学びます。今、教育現場で求められている鑑賞活動の前提となる学習観の変遷をおさえた上で、対話型鑑賞: VTS (visual thinking strategies)の基本的な内容や身体性を伴う鑑賞活動のあり方等を紹介し、実際にパフォーミング鑑賞劇(表現)にチャレンジしてみます。幼児の表現領域から主に図工・美術の授業づくりに対応した内容になっています。

講習の展開:

第1時限 子どもとひらく鑑賞活動への誘い

第2時限 からだ・気づき・対話の鑑賞教育とは? VTS 実践

第3時限 パフォーミング鑑賞劇づくり

第 4 時限 発表·鑑賞会

受講に当たっての要件(講習内容のレベル):

最新の学習指導要領をご一読いただけますよう、お願いします。

受講者の皆様の学校種毎の指導要領に基づく授業づくりについて討論・発表をしていただきますので、積極的に発言していただけますよう、ご準備ください。

授業の形式: ワークショップ・講義

履修認定試験: 論述形式の筆記試験を課します(ノート・配布資料の持込可)。

テキスト・参考文献:

◎テキストとして以下の書籍を使用しますので、必ず一読してきてください。

①フィリップ・ヤノウィン著

『どこからそう思う?学力をのばす美術鑑賞ヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ』 京都造形芸術大学 アートコミュニケーション研究センター 平成 27 年

②森村泰昌『踏み外す美術史』講談社現代新書 1998

◎参考文献

アメリア・アレナス著 『みる・かんがえる・はなす』淡交社 2001 上野行一監修『まなざしの共有 アメリア・アレナスの鑑賞教育に学ぶ』淡交社 2001